令和４年度　第１回未来会議（全体会）　議事録

鹿ノ台未来まちづくり会議（未来会議）会長　須都　紘
書記・広報　鈴木　豊

日時：令和 4 年 4 月 24 日（日）13:30～15:10
（各分科会等の打ち合わせは 16:45 まで）

会場：西集会所

出席者：（順不同、敬称略）
須都　紘（会長）、伊藤　智子、黒部　實（以上　副会長）
鎌田　卓（事務局長兼会計）、鈴木　豊（書記・広報）
田口　信義、中世古　昭一、山地　祐輔、山田　勲、中谷内　政之、
黒田　勝行、平井　誠三（新任）、谷猪　富貴子、山田　修、渡辺　昇
傍聴：中尾議員（生駒市議会）
欠席：蔵田　かほり、野津　拓也

配布資料：
① 議題
② 鹿ノ台未来まちづくり会議　2021 年度決算、2022 年度予算（案）
③ 2022 年度　未来会議構成員（案）
④ 委嘱書（子育て分科会）
⑤ 「子育て分科会」活動報告書
⑥ 「高齢者分科会」活動報告書
⑦ 鹿ノ台「森のコンサート」終了報告
⑧ 「連合会ホームページへの提言」小委員会報告書
⑨ 未来会議　経費支出について
⑩ 令和 4 年度緑化運動功労者内閣総理大臣表彰状（ECOKA 委員会受賞）

〇須都　未来会議会長より
・未来会議は昨年 3 月 27 日の設立総会で発足し、これまで一年間、活動を続け

てきた。
・そもそも未来会議は、我が国の人口が減少し続けるなか、鹿ノ台においても現在 7,000 人の人口が 2040 年には 5,400 人まで減少し、4 軒に 1 軒が空き家となるという予測が出たことを踏まえ、「何もしないと鹿ノ台は活気のないまちになってしまう」との危機感から、スタートしている。
・これまでの活動としては、「鹿ノ台未来まちづくり：中期計画骨子」をまとめ、5 つの基本目標を定めた。そのうち 3 つについて分科会を立ち上げ、各分科会においてテーマを深堀りして課題を抽出し、施策の検討を進めている。いくつかの施策は実現が近く、すでに成果が出たものもある。
・引き続き課題を整理し、中期計画の実現に向けて取り組んでいきたい。

〇2021 年度決算及び 2022 年度予算
・2021 年度の収入及び支出が確定した。これに合わせて 2022 年度の予算も確定したので、改めて提案する。
・「鹿ノ台未来まちづくり会議　規約」（以下「規約という。）に沿って、会計監査役の監査を受けることとしている。

意見交換
・この決算及び予算には運営費のみが計上され、事業費は含んでいないのか。
　→　事業費は事業の執行にあたって運営費の予算を超える多額の支出を伴うものであると考えている。またこの事業費は、規約に示されているとおり、連合会に報告して承認を受ける必要がある。
　→　今回提案したのは運営費のみであり、わかりやすくするために「運営費」と追記しておく。
・（会長）承認をお願いしたい。
　→　異議なく、承認。

〇2022 年度未来会議構成員
・変更があったため、報告する。
・東西南北桜美会より推薦された福家さんから昨年度末に退任届が提出されたため、規約に沿って未来会議会長と連合会長が協議し、後任を平井さん（令和 4 年度鹿ノ台校区老人クラブ連合会会長及び東桜美会会長）とした。5 月の連

合会役員会で承認を求めたい。
　→　未来会議として異議なし。
・また、梅本さん及び須田さんから退任の申し出があった。後任について現時点では未定である。
・~~なお、~~会計担当の蔵田さんからは、仕事の都合で業務執行が困難だという申し出があったため、鎌田事務局長に会計の兼任をお願いしたい。
　→　異議なく、承認。

○専門委員の委嘱
・昨年度に引き続き今年度も中尾さんと有信さんに子育て分科会の専門委員を委嘱したい。
　→　異議なく、承認。

○「子育て分科会」活動報告

転入促進
・親子が参加できる休日イベントの企画を進めるとともに、鹿ノ台の素晴らしい財産である中央公園の魅力を更に向上させるための方策を検討していく。

「鹿ノ台放課後子ども教室にじ」
・児童と親に向け、「鹿ノ台放課後子ども教室にじ」（以下「にじ」という。）の実施要項を作成した。
・学生スタッフ募集のチラシを回覧、掲示したところ、早速５名の応募があり、うち３名からは履歴書を送っていただいた。地域のスタッフとしては９名（うち２名は月１回程度の参加）を確保でき、運営の目処が立っている。
・今年度の活動には外部講師を招聘するイベントを多めに盛り込んだ。これは初年度で参加児童にアピールしたいのと、スタッフが外部講師からノウハウを学びたいためである。
・参加申込用紙は５月６日（金）に小学校で配布する予定である。

意見交換
・チラシに責任者の氏名や所在地が示されていないのはなぜか。
　→　にじは生駒市教育指導課からの委託事業として実施しており、市のルー

ルに沿って運営している。市内の「放課後子ども教室」と同じやり方で運営上の責任者はなく、所在地は小学校となるので、示していない。

○「高齢者分科会」活動報告

概要、経過

・「鹿ノ台未来まちづくり中期計画骨子」を実現するため、高齢者分科会ではこれまで懸案事項をリストアップし、実施済のアンケート結果を参照するなどにより、問題点を抽出してきた。
・また関連する委員会・団体との意見交換を進め、目指す方向について、一部を除き同一であることも確認した。
・連合会役員会では連合会長から「支え合いの仕組みづくり（案）」が提起され、「（仮）鹿ノ台支え合い（準備）委員会」の設置及び単位自治会に地域福祉担当を置くことが提案された。
・当分科会の協議では、「傾聴ボランティア」として対応を検討していた不安、孤立など心の問題に対し、「街角ケア」支援チームとして対応したいとの提案があった。

今後の進め方

・下記の９点を提案する。

1. 傾聴ボランティアの調査、対応方法を検討する。
2. 関連する委員会・団体と考え方が異なる部分（ボランティアの募集時期）を調整していく。
3. ゴミ出しや家事支援などの課題に対して、「鹿ノ台シルバー」（名称は別途検討中）がどのような位置づけで対応していくかを検討する。
4. ボランティアの皆さんに知っていただきたい事項は、マニュアル作成や講習会の開催で知っていただく。
5. 地域内に対応する委員会・団体がすでにある項目（弱者支援、送迎・移動、災害・支援要請）については、当該部門との調整を進めていく。
6. 関連する委員会・団体とは継続して意見交換の場を持つ。
7. 取組みが円滑に進むよう、工程表を作成する。
8. 支援の内容を住民の皆さんに周知するための冊子を作成する。
9. 「（仮）鹿ノ台支え合い（準備）委員会」への当分科会の参画方法、時期

について、連合会と未来会議で協議していく。

意見交換

・「鹿ノ台シルバー」は、分科会のメンバーで設立するのか。
　→　分科会のメンバーを中心として設立したい。
・対応内容の一部は、有償とせざるを得ないのではないか。ただし事業収入となると自治会の組織では対応できない。
　→　事業体として独立させることなどを検討することになるかもしれない。
・今後の分科会を、9 点の提案に沿って進めてよいか。
　→　異議なく、承認。

○「交流分科会」活動報告

鹿ノ台「森のコンサート」終了報告

・大規模な野外コンサートとしては鹿ノ台で初めての試みであったが、4 月 2 日（土）は絶好の晴天にも恵まれ、午前・午後合わせて延約 800 人の参加者があった。
・多くの来場者から喜びと感謝の声をいただいた。バンビ・カフェや子ども会からも出店参加してよかったとお礼をいただいた。
・生駒市からはみどり公園課と地域コミュニティ推進課に理解と支援をいただき、中央公園が使用でき、市の広報紙「いこまち」でも PR できた。
・当日は小紫市長はじめ市の関係者も来場され、市長からは温かい励ましのご挨拶をいただいた。現場も見ていただき、鹿ノ台の未来まちづくりの取り組みを評価していただいたのではないかと思う。
・連合会、未来会議の理解・支援のもと、実行委員会を立ち上げ、サポーターの皆様のご協力をいただき、開催することができた。皆様のご協力に厚く御礼申し上げる。
・黒田さんの協力を得て、ライブ映像をネット配信することもできた。
・出演者、キッチンカー及び来場者には、鹿ノ台中学校の許可を得て駐車場を利用してもらい、対応できた。
・会場の見回り及び会場周囲の違法駐車の見回りについては、地域安全推進委員会の皆様に特別の協力を得て、無事に実施することができた。ユニフォーム姿での見回りは効果的であった。ご協力に感謝申し上げる。

・3 月 30 日（水）の朝日新聞朝刊に「鹿ノ台真ん中で　森のコンサート　4 月 2 日に・生駒マルシェも」の見出しで紹介記事が掲載された。また当日に市の広聴広報課、生駒市公式 Facebook「グッドサイクル」の取材を受けた。
・コロナ感染症対策として、市の許可条件を遵守するとともに、感染防止対策（検温のお願い、手指消毒、マスク着用など）を実施し、公園のトイレにはアルコール消毒液を補充・追加した。
・ゴミは各自持ち帰っていただくよう周知した。コンサート終了後に見回りしたが、ほとんどゴミは落ちていなかった。
・開催に要した費用は、音響機器や電源車の提供に対する謝礼やチラシ、プログラムの印刷費用など合計で 15,770 円であった。

課題

・時間の制約があるなかで出演バンド数、各バンドの出演時間の調整が進んだため、チラシ等による周知後に、開演時刻を午後 1 時から午前 11 時開演に繰り上げることとなり、一部の住民の皆さんに混乱を招いた。
・幅広いジャンルで演奏が行われ、鹿ノ台から 3 バンド、鹿ノ台以外からは 6 バンドの出演があったが、連合会・未来会議主催のイベントとしては、鹿ノ台の出演者を主体にするほうが良いのではないかという声があった。
・市みどり公園課には中央公園の電源を使用できるよう整備をお願いしていたが、大掛かりな工事が必要と判明したために間に合わなかった。今回は電源車で対応できたが、今後の課題である。また音響機器が個人からの貸与であったことも今後の課題である。

今後

・桜、ツツジ、紅葉などの季節に中央公園でコンサート等のイベントを行うことは、住民の交流、賑わいづくり、鹿ノ台の魅力の PR に大きな意義があると思われる。
・一方で、恒例行事として 4 月に「ふれあい音楽祭」、10 月にいきいきホール「オータムフェスタ」が開催されているため、これらとの関連について改めて整理する必要がある。
・また、大きなイベントを実施するためには核となる組織と相当数の実働部隊が必要なので、十分な体制の構築が不可欠である。
・（渡辺実行委員長）地域安全推進委員会の方が見回りしてくださるのがステージからもよく見え、安心して演奏できた。キッチンカーは大きな売上があっ

たと好評であった。座席などの見取り図を作っていなかったので、サポーターにお手数をかけることになり、反省している。感染対策の観点からも市長はどんどん公園を使ってくださいと言っておられる。これからも公園を使って楽しいイベントを企画していきたい。

○「連合会ホームページへの提言」小委員会報告

・連合会ホームページ委員会（以下「ホームページ委員会」という。）との合同会議を 4 月 23 日（土）に開催した。
・合同会議に至る経緯と、ホームページ委員会で検討していただきたい項目（下記 2 点）を当小委員会から説明した。
  1. ホームページの内容リニューアル
  2. 規約の変更（ホームページの「目的」に転入促進の観点を追加）
・内容のリニューアルの柱として、鹿ノ台に転入する可能性のある若い世代に訴求力を持つホームページとするため、①内容の変更と追加、②トップページの構成とデザインの変更を提案し、ホームページ委員会の同意を得た。
・今後は、リニューアル案をより具体化していくこととした。ホームページ委員会の定例会に当小委員会から数人参加し、方向性や内容を検討していく。
・定例会とは別に、当小委員会とホームページ委員会の実務者（野津さん、丸山さん）で、具体的な内容のアイディア出しを行っていく。
・連合会ホームページに掲載すべき情報が必ずしも提供されないことがあることが課題として上がった。また、告知（今後のお知らせ）と報告のバランスも課題とされた。

○未来会議　経費支出について

・会計担当より、下記の提案があった。
  1. 経費の支出は承認された予算に基づく。
  2. 予算外の支出が必要な場合は、未来会議全体会の承認を得る。
  3. 予算内の支出であっても、1 件 5,000 円以上の支出は幹事会の承認を得る。
  4. 支払いは会計担当の検印を事前に得る。
  5. コスト削減のため、単価の高いカラーコピーは極力、使わない。
  → 異議なく、承認。

○　令和 4 年度緑化運動功労者内閣総理大臣表彰受賞について

・緑緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰は、緑化推進運動の実施に顕著な功績のあった個人又は団体に対し、関係省庁からの推薦に基づき内閣総理大臣が決定し、表彰を行うものである。令和 4 年の受賞者は、13 の個人・団体であり、奈良県からは唯一、ECOKA 委員会がこの栄えある賞を受賞した。

功績の概要

・ECOKA 委員会は、地区の公園、街路植樹帯、緑地の樹木の保護・維持・管理、緑化促進、環境教育、地域イベントなどの活動を行っている。
・街並み景観と沿道景観を向上するため、住環境の維持保全活動として約 12ha の緑地において、間伐、枯損木処理、雑草木刈り、侵入竹皆伐、不法投棄ごみの集積・回収のほか、1,300 本以上の植樹などの緑化活動を実施している。
・また、住民の健康維持・増進に寄与するため、緑地における遊歩道の整備、杉丸太階段の作設、森林ウォーク、シイタケ狩り、お花見会などを毎年実施するとともに、地元の子供たちと緑地と接する川において、ゲンジボタルの幼虫の放流活動も実施している。
・さらに、花と緑に囲まれた四季彩のまちづくりのため、緑地以外の活動として、地区内の 6 か所の花壇において、年 2 回の花苗の植え付け、毎日の水やりなどの管理を行っている。これに加え、所有者の協力を得て地区内の未利用地の一部を「鹿ノ台オープンガーデン」として整備し、チューリップ 5,000 株やユリ、ジャーマンアイリス、菊、ダリアなどを育て、四季を通じた憩いの場として市民に開放し、賑わいを創出している。

山田勲委員長より

・ECOKA 委員会はこれまで 15 年間、鹿ノ台の住環境の整備に取り組んできた。鹿ノ台に対し、憧れの思いを持って、活動を継続してきた。その結果として生駒市、奈良県、国などからの受賞歴は 10 本を超えることとなった。
・私は鹿ノ台に住んでいることに誇りを持っている。
・一方で鹿ノ台の良さを知らない人も大勢居る。行政に任せきりにできることではないので、鹿ノ台の良さを自分たちでどのようにアピールしていくかを考えつつ、これからも活動を続けていきたい。

→　一同より大きな拍手。

◯　太陽光発電パネル廃棄問題について

・前回の会議で「太陽光パネルが産業廃棄物となり、処理に高額の費用がかかる」という話題が出たが、最新の情報を入手したので、共有したい。

・まず、事業者に廃棄パネルの廃棄費用確保のための積立金を義務付ける制度が 2022 年 7 月 1 日から施行される。この制度では、不法投棄を行った場合 FIT（固定価格買取制度）の認定取り消しもできるようになる。大量の廃棄パネルが出てくるのは 2032 年以降（FIT 開始の 2012 年から約 20 年後）であり、今から積立てを義務化しておけば、問題の深刻化は防げると想定されている。

・技術面では、太陽光パネルの板ガラスを割らずに回収してガラス原料として再利用したり、レアメタルを取り出して再生することなどが可能となりつつある。

・また、太陽光パネルには有害物質が含まれていると言われることが多いが、これに当たるのは米国 2 社が製造したパネル（うち 1 社は製造を中止済）であり、国内では使用量全体の 1 割未満を占めるに過ぎない。

・これからは石油やガスで発電してよい時代ではなくなる。災害時にいきいきホールで自治会活動を継続するためにも、太陽光発電パネルの設置は必要だと考える。

意見交換

・中国産のパネルには有害物質は含まれていないのか。

　→　一般的には大丈夫だと言われている。個人宅に導入する際は、きちんとチェックする方がよい。

・パネル廃棄時に自己負担は発生するのか。

　→　現時点では不明である。

各分科会等の打ち合わせ

・各分科会に分かれて、打ち合わせを実施

次回

日時

令和 4 年 5 月 15 日（日）13:30 – 16:00

第 1 部　全体会　　13:30 - 14:45

第 2 部　各分科会　14:50 - 15:00

※「南北」の構成員及び幹事は 13:15 集合

会場

西集会所

主な議題（予定）

1. 各分科会からの報告
2. 共通報告事項
3. 各分科会の打ち合わせ
4. その他

以上